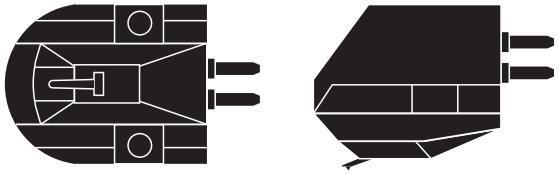


## 取扱説明書

### MC型(デュアルムービングコイル)ステレオカートリッジ AT-OC9/Ⅲ MC



#### 特長

##### ●シリーズ最高の音質を追求したフラッグシップモデル

本製品のオリジナルモデルは1987年に発売されたAT-OC9にさかのぼります。以降、AT-OCシリーズは国内、国外にまたがりモデルチェンジを重ねながら、20年以上に渡り販売を続けております。本製品は好評をいただいた海外専用モデルAT-OC9ML/Ⅱの基本設計をベースに、スタイラスチップ、カンチレバー、磁気回路パーツ、ダンパーなどを新たに見直し、最高の音質を追求するというコンセプトのもとに誕生いたしました。情報量豊かな音質、静寂の中に音楽が浮かびあがるような表現を心ゆくまで楽しみたいだけです。

●特殊ラインコンタクト針とφ0.26ソリッドボロンカンチレバー  
スタイラスチップには先端曲率半径、40μm×7μm の特殊ラインコンタクト針を採用。これによりアナログレコードに刻まれた音楽信号をくまなく読み取ると同時に、シリーズ最高のダイナミック・コンプライアンスを実現しました。このラインコンタクト針をφ0.26のソリッドボロンカンチレバーへ強固に埋め込み接着することにより、針先で読み取られた音楽信号を正確に発電コイルに伝えます。

##### ●磁気エネルギーを飛躍的に高めたネオジウムマグネットとパーメンジュールヨーク

マグネットには、最大エネルギー積、BHmax:50[kJ/m<sup>3</sup>]のネオジウムマグネットを採用し、ヨークには高い飽和磁束密度を持つ、優れた磁性材料のパーメンジュールを採用して、コイルギャップ部の集中磁界をさらに強化しました。

##### ●コイル、ターミナルピンにPCOCCを採用

PCOCCは伝送方向に結晶粒界を生じないため、ピュアな伝送をお楽しみいただけます。

#### PCOCC

PCOCC=Pure Copper by Ohno Continuous Casting process  
(単結晶状高純度無酸素銅)

##### ●高セパレーション、ワイドレスポンスのデュアルムービングコイル

基本構造は、左右チャンネルのそれぞれに円筒状コイルを配した独自のMC型。L、Rが独立して発電されるこの構造は、本質的に優れたセパレーション特性を備えています。反対チャンネルの信号が漏れ出るということは、ステレオの広がりとともに、音質にも決定的な影響を与えます。不規則な混変調の歪みに通じるからです。デュアルムービングコイルシステムがクリアできめ細かい音質を持っているのは、生まれつきセパレーションが良いことに理由があると言えるでしょう。本製品は左右2本のコイルを逆V字状として針先から見た振動質量を減らし、コイルの不要な運動を抑えて歪みをさらに抑えています。

##### ●不要な振動を抑えるVCモールド

コイルを固定するVCモールドは高強度、高剛性化のためにチタン酸カリウムを配合した硬質合成樹脂を採用しています。

##### ●剛体化設計に徹した強靱なボディ

精密で堅牢なアルミ合金をベースに硬質樹脂で寄生共振を抑えこんだ構造です。不要な振動を抑え底面にはメッキを施して高剛性化とSN比の向上を図っています。

##### ●高音質・真鍮取り付けビス

シェルとの取り付け用に真鍮ビスを付属。本製品の高音質と最良のマッチングが得られます。



お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

## 安全上の注意

本製品は安全に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。  
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

**警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

**注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 警告

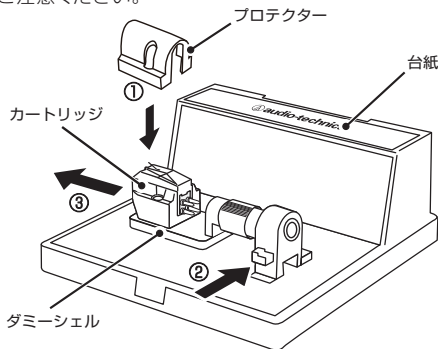
- 幼児の手の届く所に置かない**  
事故や故障の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**  
事故や火災の原因になります。

### 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**  
故障、不具合の原因になります。
- 振動系は指で触れない**  
故障の原因になります。
- 分解や改造はしない**  
故障の原因になります。
- 強い衝撃を与えない**  
故障の原因になります。

#### ケースからの取り外しかた

- ①上部の透明なケースを取り外し、台紙内のプロテクターをカートリッジに装着します。
- ②オレンジ色のボタンを奥側へ押し込み、ロックを解除してください。
- ③カートリッジの側面を持って、図の矢印の方向に引き抜きます。
- ④付属のマイナスドライバーを使用して、カートリッジをダミーシェルから取り外してください。その際、カートリッジの針先を痛めないよう充分にご注意ください。



※注意  
ケースにてカートリッジを保管する場合は、必ずプロテクターを装着し、ダミーシェルまたはヘッドシェルを挿入後、オレンジ色のボタンを必ず手前側に押し、ロックをかけてください。ロックをかけないと、カートリッジが脱落し破損の原因となります。

#### 使いかた

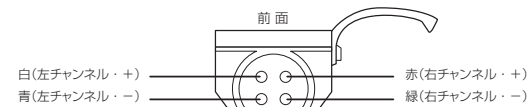
\*針部分は大変にデリケートです。取り扱いには充分にご注意ください。

##### ①ヘッドシェルに取り付けます。

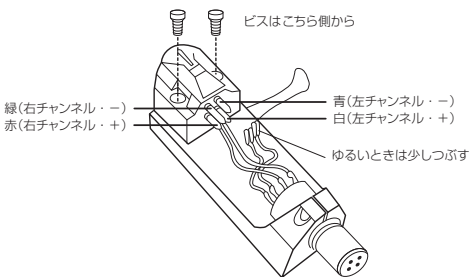
振動系を痛めないよう、プロテクターを装着してください。(プロテクターは梱包ケースの台紙内に収納されています。)ビスは仮締めしておきます。なお、ヘッドシェルはできる限り重量タイプのものでご使用ください。

##### ②出力端子の極性に注意してリードチップを差し込みます。

ユニバーサルアームのヘッドシェルリード線は、下図のように配列されています。カートリッジの出力端子へ、同じ色のリード線を接続します。リードチップがゆるいときは、少しづつしてから差し込みます。出力端子にはハンダなどの熱を絶対に加えないでください。なお、リード線は付属のPCOCC線をご使用になると最高のマッチングが得られます。接続が終わりましたら、プロテクターを取り外します。



前からみたシェルリード線の配列(ユニバーサルアームの場合)

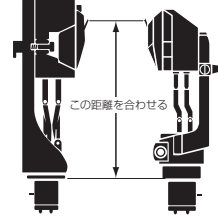


\*図は、わかりやすくするためにプロテクターを外してあります。

##### ③カートリッジの取り付け位置を正確に決めます。(オーバーハングの調整)

レコードプレーヤーの説明書に従ってオーバーハングの調整をします。不明なときは、そのレコードプレーヤーに最初から付属していたカートリッジに針先位置を合わせてください。(下図)誤差が大きいと音質が劣化しますので理想的には±1mm以内に揃えてください。

アーム付属のカートリッジ AT-OC9/Ⅲ



\*調整が終わりましたらビスを左右均等になるように本締めします。

##### ④針圧を調整します。標準値は2.0gです。

本製品の適正針圧は1.8~2.2g(標準2.0g)です。通常は2.0gに設定します。気温やレコードの状態、または使用条件(振動が多いなど)によっては、適正値の範囲内で針圧を調整してご使用ください。

##### ⑤アームの高さが調整できるときは。

ヘッドシエルの底面とレコード面とが横からみて平行になるように、高さを調整してください。アームの高さが適当でない、カートリッジのボディアレコードに当たったり、音質が劣化することがあります。

##### ⑥アンプとの接続にはトランスかヘッドアンプ、もしくは単体フォノイコライザーが必要です。

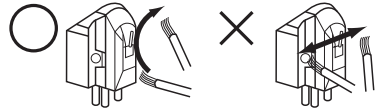
アンプにフォノ(PHONO)入力(MCポジション)がある場合はそのまま使用することもできますが、本製品の音質を活かすため、昇圧トランス(別売)かヘッドアンプ、またはフォノイコライザー(別売)の使用をおすすめします。接続については、使用される機器の取扱説明書もご確認ください。

##### ⑦針先をいつもきれいにしておいてください。

針先のごみや汚れは付属のブラシできれいにしておいてください。汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー(別売)をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。カートリッジをアームから外したときは忘れずにプロテクターを取り付け、アンプなどの熱源から離して保管してください。

##### 針先クリーニングのしかた

ハケは必ずレコードの進行方向に動かす。



##### ⑧針交換はカートリッジ全体をお取り換えします。

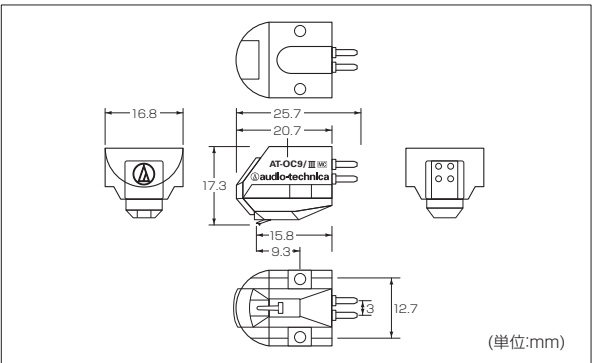
ご使用済みのカートリッジを販売店へお持ちください。本製品または当社販売中のMCカートリッジの中から、ご希望の機種を針交換価格でご提供させていただきます。なお、本製品の生産終了後については、販売中のMCカートリッジの中から針交換価格にてご提供させていただきます。あらかじめ、ご了承ください。

#### テクニカルデータ

型式	: MC型
再生周波数範囲	: 15~50,000 Hz
出力電圧	: 0.4 mV(1 kHz, 5 cm/sec.)
チャンネルセパレーション	: 30 dB(1 kHz)
出力バランス	: 0.5 dB(1 kHz)
針圧	: 1.8~2.2 g(2.0 g標準)
コイルインピーダンス	: 12 Ω(1 kHz)
直流抵抗	: 12 Ω
負荷抵抗	: 100 Ω以上(ヘッドアンプ接続時)
コイルインダクタンス	: 25 μH(1 kHz)
スタチックコンプライアンス	: 35 × 10 <sup>-6</sup> cm/dyne
ダイナミックコンプライアンス	: 18 × 10 <sup>-6</sup> cm/dyne(100 Hz)
針先形状	: ラインコンタクト針 (先端曲率半径 40 × 7 μm)

カンチレバー	: φ0.26ソリッドボロン
垂直トラッキング角	: 23°
外形寸法	: H17.3×W16.8×L25.7 mm
質量	: 8.0 g
●付属品	: 非磁性体ドライバー×1、ワッシャー×2、プロテクター×1 カートリッジ取り付けビス 11mm×2、16mm×2 ナット×2、ブラシ×1、PCOCCリード線セット×1

(改良のため予告なく変更することがあります。)



アフターサービスについて  
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)  
製品の仕様・使いかたや修理・部品の相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。  
●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp  
●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp  
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

#### 株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1 <http://www.audio-technica.co.jp>